

A. 主な動き

1. 内政

▼国民投票・期限前議会選挙にかかる動き

・6日、欧州評議会議員会議(PACE)監視団は、5日のモルドバ国民投票が適切に、欧州標準に従って実施されたと発表、さらに議会解散と期限前議会選挙の日程を決定するようモルドバ当局に勧告。

・6日、非政府調査団体Promo-Lexは、国内の投票所で数件の違反が確認され、国外においては投票実施の告知が不十分であったとの調査結果を発表。

・6日、ヴォローニン前大統領は、国民投票の結果に満足しており、期限前議会選挙実施後に共産党発案の議会における大統領選挙法改正案を採択する計画を発表。

・6日、ギンプ大統領代行及びフィラト首相は、早期議会解散及び期限前議会選挙の実施を主張。ルプ民主党党首は、議会における与党・野党間の対話の再開の必要性を主張。同日、AEL所属各党の代表は、議会解散のための条件を確認するための書類に署名。

・7日、ギンプ大統領代行は、議会解散のための条件を確認するための書類を憲法裁判所に提出。これを受け、憲法裁判所は、10日以内に判断を行うと発表。

・7日、フィラト首相は、今回の結果によって大統領直接選挙の実施を目指すAELの基本方針が揺らぐことはないと言。

・7日、「統一モルドバ」及び社会民主党は、新たな左派中道ブロック形成の協議が水面下で行われていると公表。

・8日、AEL所属各党は、11月21日の期限前議会選挙、60日間の選挙運動の実施につき合意。

・9日、議会は、第18回会期を開会。共産党議員は、ボイコットを中止し議会に復帰。

・9日、中央選挙管理委員会は、投票率30.92%との国民投票最終結果を発表。

・9日、フィラト首相及びルプ民主党党首は、AEL各党は期限前議会選挙に各党個別に臨むことになる発言。

▼その他

・10日、ギンプ大統領代行は、国家ではなく共産党の利益のために職務を行っているとし、ネグレタ駐露大使を罷免させる可能性に言及。

2. 沿ドニエストル

・6日、ドゥベサリ市検事当局は、5日に投票所を封鎖した沿ドニエストル「警察官」に対する刑事事件を開始。オシポフ沿ドニエストル問題担当副首相は、同事件はキシナウとティラスポリ間の緊張を狙ったものと非難。

・7日、沿ドニエストル当局は、5日に沿ドニエストル「国境警備隊職員」の制止を振り切り、不法に同地域内に車輛にて進入し同「職員」に怪我を負わせたとされるモルドバ警察官の捜索を開始。オシポフ沿ドニエストル問題担当副首相は、「国境警備隊」を撤退させるよう沿ドニエストル当局に要求。

・9日、フィラト首相は、スミルノフ沿ドニエストル「大統領」と電話会談、現在の情勢に関し意見交換。

3. 経済

▼マクロ経済

・7日、国家統計局は、8月の消費者物価が7月比0.9%減となったと発表。

・8日、中央銀行は、出稼労働者による1-7月のモルドバへの送金額が前年同期比4.3%増の6億5,518万ドルと発表。

・8日、モロカノヴァ沿ドニエストル「財務相」は、沿ドニエストルの2011年度財政赤字は1億6,611万米ドルを超え、歳出の45.6%に上ると発表。

・10日、8月の外貨支払い準備高は、前月末比2.9%増の15億5,000万ドル。

▼対モルドバ支援

・8日、在モルドバ独大使館は、独政府がモルドバの洪水被害者支援(医療センターや幼稚園再建)のために30万ユーロを計上予定と発表。

・10日、UNDPは、モルドバ議会に対し200台のパソコンと100台超のプリンターの供与を実施予定と発表。

4. 外政

▼8日、フィラト首相のハンガリー訪問

・フィラト首相は、オルバン・ハンガリー首相と会談、2国間協力につき協議した他、2011年1月よりハンガリーがEU議長国に就任することに関連しモルドバ・EU関係についても言及。

▼その他

・6日、パコンスキ・ルーマニア外相は、AELがルーマニア及び欧州の財政・政治支援に基づく国内改革を継続することが極めて重要と発言。シコルスキ・ポーランド外相は、ポーランド及びルーマニアが、EU「東方パートナーシップ」の枠組みでモルドバ支援に向け協力していく所存と発言。

・10日、外務・欧州統合省は、対EU査証自由化交渉の一環として欧州委員会の調査団が来訪、情報セキュリティ、不法移民対策、国境管理等につき調査、調査団が9月13～16日に再び来訪の予定と発表。

5. 防衛

▼軍事演習「Rapid Trident 2010」

・6日、ウクライナにおいて多国間軍事演習「Rapid Trident 2010」が開始。本演習には、NATO及びNATO平和のためのパートナーシップ加盟国等が参加。モルドバから第22

平和維持大隊の約80人が参加した他、ウクライナ、イギリス、ポーランド、ノルウェー、スウェーデン、オーストリア、ドイツ、アゼルバイジャン、アルメニア、カナダ、アメリカ、マケドニア、グルジア及びスロベニアから約1,400人が参加。

B. その他の動き

9/8 (水)

・国防省は、モルドバ軍医等10名がモンテネグロにおいて中東欧多国籍演習に参加していると発表。地震・洪水時の緊急医療援助等を訓練。NATO及びNATO平和のためのパートナーシップ加盟国14ヶ国が参加し、21日まで実施予定。
・マリヌタ国防相は、モルドバ軍の防空システムは至急近代化する必要があると主張するとともに、ソ連軍から引き継がれ

たレーダーはまだ運用状態にあるものの全く旧式であると発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)